

# ふるさと わがまち わが地域

～あなたの力をお貸しください～

井谷(いだに)地区(更新1)251213

世帯数 3世帯  
人口 5人  
(平成25年7月1日)  
前回24年12月より  
人口1人減少



## ★地区概要

井谷区は、昭和30年には、12世帯、人口58人が暮らしていました。かつては、織物製造と農業で生活を営んでいましたが、時代の変化にともない、織物も衰退し、農業も耕作者の高齢化に伴い、今日では3世帯、5人の状態です。また、近年は鳥獣被害が激しく(特にサルの集団被害)区長の悩みの種です。また、地域を引っ張る担い手は地区外に出ている超限界集落です。

## ★限界集落からの脱却

井谷地区再生に向けて話し合いがもたれる、地域の拠点である集会所です。

まず、人づくりからの考えのもと、Uターン、Iターン等をいかにできるか模索しています。

“皆さんの力をお貸しください”。

井谷集会所



## ★文化・伝統



八幡神社

(はちまんじんじゃ)

(前回八柱神社で表示していましたが間違いでしたので訂正します。)



祭神 菅田別命(ほんだわけのみこと)



近くに宇川がありますが、季節による水量の問題もあり、水利確保が非常に難しいです。地区の防災の要、防火用水です。11月1日には3地区(井上、畑、井谷)合同の自主防災組織を設立しました。みんなで守っています！

## 防火水そう



どこ  
昔は何処？

今は、誰も住んでいないため、朽ち果て壊れた家屋。

あなたの力で“再生”してみませんか。



## 井谷集会所内

集会所内にある仏像です。旧薬師堂では、地区の人が集まった時に、マキで煮炊きしたり、冬は暖を取るためにストーブを焚いたりしたため、煤(すす)が仏像に付着して、黒くなっています。



## 井谷の薬師堂

長年の風雪に耐えてきましたが、老朽化が著しく、今は本尊を井谷集会所内に移して閉じています。一年前よりも傷みが激しくなっています。側に宝篋印塔(ほうきょういんとう)があります。



約一年前 →



ほうきょういんとう

## 宝篋印塔(鎌倉前期)

昭和35年に当時の丹後町観光協会では京都観光連盟を通じて丹後町内の名所史跡についての観光診断を要請しました。要請に応じて川勝博士(大阪工大教授・文博・考古学者)ら京都史跡会の一行31人が来町して、7月20日から3日間にわたり上山の上山寺等仏寺を中心に調査が行われました。

上山寺は約1300年前の開山になることが五輪塔の彫刻によってうかがわれるが当時のもの発見できず年代の一番古いものは井谷薬師堂の宝篋印塔で、鎌倉前期と鑑定された。(丹後町史より)